

講義科目 : 病態学(臨床病態学) (70期生)	単位数 : 2
担当 : 有馬 寧	学習形態 : 選択科目
	栄養士免許必修科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

病態とは、病気によって引き起こされた人体の構造と機能の変化を総称したものである。患者の病態が把握できれば、正しい診断や治療は直ちに開始できる。病態学は、病気の原因を探り、病気によって異常な現象と細胞・組織・器官・生体に起きる変化の関連性を明らかにする科学である。本講義の目的は、病気によって生体に起きる変化を学び、栄養・健康科学に必要な病気の基礎的知識を習得することである。

授業計画

- 第1回 病態学とは、症状と徴候、臨床検査と評価
- 第2回 循環器：病態と症候/心不全/ショック/不整脈/虚血性心疾患/高血圧/動脈硬化
- 第3回 呼吸器：病態と症候/呼吸不全/主な症候/気道・肺の炎症/慢性閉塞性肺疾患
- 第4回 消化器1：病態と症候/胃食道逆流症/胃十二指腸潰瘍/潰瘍性大腸炎/クローン病
- 第5回 消化器2：潰瘍性大腸炎/クローン病/肝臓の構造
- 第6回 肝胆膵：病態と症候/肝炎/肝硬変/肝がん/胆石/胆嚢炎/膵炎/膵がん
- 第7回 腎臓・尿路：病態と症候/腎不全/糸球体腎炎/ネフローゼ症候群/尿路感染症
- 第8回 内分泌：病態と症候/下垂体/甲状腺/副甲状腺/副腎皮質と髄質
- 第9回 代謝：病態と症候/糖尿病/脂質異常症/高尿酸血症/肥満/先天性代謝疾患
- 第10回 自己免疫・アレルギー：病態と症候/膠原病/アレルギー疾患/免疫不全
- 第11回 血液：病態と症候/貧血/血液凝固異常/造血器腫瘍(白血病/リンパ腫)
- 第12回 神経：病態と症候/脳卒中(梗塞・出血)/認知症/プリオン病/神経変性疾患
- 第13回 筋骨格：病態と症候/骨粗鬆症/変形性関節症/痛風/関節リウマチ
- 第14回 生殖器：病態と症候：子宮内膜症/子宮がん/卵巣がん/乳がん
- 第15回 臨床検査試料と検査値；病態学のまとめ

教材・テキスト・参考文献等

教科書：はじめの一步の病態・疾患学(林修編) 羊土社 2018年

成績評価方法

筆記試験70%と授業での質疑応答とレポート30%

実務経験

医学部を卒業後、臨床医として内科に勤務しました。その後、大学にて36年間に渡って各疾患の病理学的研究を行っています。講義では臨床経験と病理学研究課題を活かし、基本的な病態学についてわかりやすく解説します。

その他

教科書には、臨床現場に必要な疾病の知識が臓器別にまとめられておりますので、学習に役立ててください。授業で取り上げなかった疾病、教科書で触れられていない疾病については、図書館にある参考書等で学習してください。